

安全データシート

ナトリウム=1-(メトキシカルボニル)ペンタデカン-1-スルホナート

改訂日: 2024-05-09 版番号: 1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名 : ナトリウム=1-(メトキシカルボニル)ペンタデカン-1-スルホナート
CB番号 : CB8876647
CAS : 4016-24-4
同義語 : ナトリウム=1-(メトキシカルボニル)ペンタデカン-1-スルホナート

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : 洗剤原料
推奨されない用途 : なし

会社ID

会社名 : Chemicalbook
住所 : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話 : 400-158-6606

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日

H21.3.31、政府向けGHS分類ガイダンス(H20.9.5版)を使用

物理化学的危険性

火薬類 分類対象外
可燃性・引火性ガス 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール 分類対象外
支燃性・酸化性ガス類 分類対象外
高圧ガス 分類対象外
引火性液体 分類対象外
可燃性固体 分類できない
自己反応性化学品 分類対象外
自然発火性液体 分類対象外
自然発火性固体 分類できない
自己発熱性化学品 分類できない
水反応可燃性化学品 区分外
酸化性液体 分類対象外

酸化性固体 分類できない

有機過氧化物 分類対象外

金属腐食性物質 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分4

急性毒性(経皮) 分類できない

急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

急性毒性(吸入:粉じん) 分類できない

急性毒性(吸入:ミスト) 分類対象外

皮膚腐食性・刺激性 分類できない

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 分類できない

呼吸器感作性 分類できない

皮膚感作性 分類できない

生殖細胞変異原性 分類できない

発がん性 分類できない

生殖毒性 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 区分2(全身毒性)

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 区分2(消化器系)

吸引性呼吸器有害性 分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 区分2

水生環境慢性有害性 区分3

ラベル要素

絵表示又はシンボル

GHS07	GHS09
-------	-------

注意喚起語

警告

危険有害性情報

飲み込むと有害

全身毒性の障害のおそれ

長期にわたる、または、反復ばく露により消化器系の障害のおそれ

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。

ばく露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名	: ナトリウム=1-(メトキシカルボニル)ペンタデカン-1-スルホナート
別名	: 1-メトキシカルボニルペンタデカン-1-スルホン酸=ナトリウム塩、(1-Methoxycarbonyl-pentadecane-1-sulfonic acid, sodium salt)、ナトリウム=1-メトキシ-1-オキソヘキサデカン-2-スルホナート、(Sodium 1-methoxy-1-oxohexadecane-2-sulfonate)
分子式(分子量)	: C ₁₇ H ₃₃ NaO ₅ S(372.50)
CAS番号	: 4016-24-4
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	: 化審法- 安衛法-
分類に寄与する不純物及び安定化添加	: データなし
濃度又は濃度範囲	: 100%

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

目に入った場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

予想される急性症状及び遅発性症状

データなし

最も重要な兆候及び症状

データなし

応急措置をする者の保護

データなし

医師に対する特別注意事項

データなし

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。

激しく加熱すると燃焼する。

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の保護

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

全ての着火源を取り除く。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

回収・中和

漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化方法・機材

水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

飲み込まないこと。

接触回避

データなし

保管

技術的対策

特別に技術的対策は必要としない。

混触危険物質

データなし

保管条件

施錠して保管すること。

容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会

未設定(2008年度版)

ACGIH

未設定(2008年度版)

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

形状	固体
色	データなし
臭い	データなし
pH	データなし
178.2 – 181.9 °C (CERI 2000)	
Decomposition at Ca 260 °C (CERI 2000)	
データなし	
データなし	
データなし	
データなし	
< 0.00017 hPa at 100 °C (CERI 2000) 5.12E-13 Pa at 25 °C	
データなし	
データなし	
1.211 g/cm ³ at 25 °C (CERI 2000)	
水 : 271.9mg/L : SIDS-SIAR (2003)	
log P = 4.06 : SIDS (2005)	
データなし	
データなし	
データなし	
データなし	
データなし	

融点・凝固点

178.2 – 181.9 °C (CERI 2000)

沸点、初留点及び沸騰範囲

Decomposition at Ca 260 °C (CERI 2000)

引火点

データなし

自然発火温度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発範囲

データなし

蒸気圧

< 0.00017 hPa at 100 °C (CERI 2000) 5.12E-13 Pa at 25 °C

蒸気密度

データなし

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

比重(密度)

1.211 g/cm³ at 25 °C (CERI 2000)

溶解度

水 : 271.9mg/L : SIDS-SIAR (2003)

オクタノール・水分配係数

log P = 4.06 : SIDS (2005)

分解温度

データなし

粘度

データなし

粉じん爆発下限濃度

データなし

最小発火エネルギー

データなし

体積抵抗率(導電率)

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性

経口

ラットを用いた経口投与試験(OECD TG401、GLP)のLD50値 1,819 mg/kg(雌)、2,142 mg/kg(雄)(厚労省報告(Access on November 2008))、雄ラットを用いた経口投与試験のLD50値 700-1,400 mg/kg(雄)(SIDS(2003))との記述から、OECD TG およびGLP準拠の試験データ1,819 mg/kgを採用し区分4とした。

経皮

データがないので分類できない。

吸入

吸入(ガス): GHS定義上の固体であるため、ガスでの吸入は想定されず、分類対象外とした。

吸入(蒸気): データがないので分類できない。

吸入(粉じん): データがないので分類できない。

皮膚腐食性・刺激性

モルモットを用いた、Draize試験で「Slight irritating」(SIDS(2003))との記述がある。しかし、この試験では本物質と2-スルホテトラデカン酸-1-メチルエステルナトリウム塩の希釈液(16%)を用いており、他にデータがないので分類できない。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

データがないので分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性:データがないので分類できない。

皮膚感作性:マウスを用いたLLNA試験(OECD TG 429)で、「SI<3であり、最高試験濃度の25%までは感作性なし」(SIDS(2003))との記述がある。他にデータがないので分類できない。

生殖細胞変異原性

in vivo 試験データがないため分類できない。

なおin vitro変異原性試験(CHL/IU細胞を用いる染色体異常試験)は「陰性」(厚労省報告(Access on November 2008))との記述がある。

発がん性

主要な国際的評価機関による評価がなされておらず、データもないので分類できない。

生殖毒性

ラットを用いた反復投与毒性試験と生殖・発生毒性スクリーニング試験を組み合わせた試験(OECD TG 422、GLP)において、母動物の前胃に変化がみられる用量で「被験物質の投与に起因する変化は生殖能、生殖器に認められず、児動物に対しても、総出産児数、新生児数、性比、出生率、体重、形態および哺育4日生存率に、被験物質の投与に起因する変化は認められなかった」(厚労省報告(Access on November 2008))旨の記述があるがデータが不十分なので、分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性

甲殻類(オシロイソデ)の48時間EC50=1.2mg/L(環境庁生態影響試験, 2000)から区分2とした。

水生環境慢性有害性

急速分解性が有る(易分解性、BODによる分解度:91-94%(SIDS, 2005))が、生物蓄積性が有る(LogKow=4.06(SIDS, 2005))と推定され、甲殻類(オシロイソデ)の21日間NOEC = 0.24 mg/L(環境庁生態影響試験, 2000)であることから、区分3とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

該当しない

航空規制情報

該当しない

UN No.

該当しない

国内規制

陸上規制情報

該当しない

海上規制情報

該当しない

航空規制情報

該当しない

特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

重量物を上積みしない。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

新規指定化学物質(第1種)(平成20年11月21日公布、平成21年10月1日施行、PRTR:平成22年4月1日把握開始、平成23年4月1日届出開始)2 - スルホヘキサデカン酸 - 1 - メチルエステルナトリウム塩(政令番号:1-241)

化審法

新規公示化学物質(2011年3月31日以前届出);優先評価化学物質

16. その他の情報

略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA:国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

【2】化学物質審査規制法(化審法)<https://www.env.go.jp>

【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) <https://www.chemicoco.env.go.jp>

【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)<https://www.nite.go.jp/>

【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>

- 【6】 ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】 ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】 eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en
- 【9】 ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】 有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】 HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】 IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】 IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】 Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。